

電子実験ノート導入についてのご案内および承諾事項

令和 7 年 9 月 1 日

デジタルラボ推進センター長決定

第 1 部 電子実験ノート導入の背景

近年、AI の登場によりデータ駆動型（DX 型）研究を始めとして研究のスタイルが一変しつつあります。AI 時代の研究では、取得可能なデータをできるだけ多く蓄積するほど有利に研究が展開できる。従来、実験情報の一部は手書きノートに蓄積されてきたが、これらの情報には実験結果を記述する上で必要不可欠な情報が含まれることが多い。従って、AI 時代においてはこのような情報も余すことなく蓄積することでより高精度な DX 研究が展開できるとされています。これまでの手書き実験ノートを使い続けた場合、手書き情報を必要に応じてデジタル情報に打ち直す二度手間が生じてしまいます。そこで、根本的な解決法として実験ノートの電子化、すなわち電子実験ノート（Electric Lab Notebook: 以下 ELN）の導入が開始されつつあります。これまで、大学における ELN の導入は一部の研究者のみにとどまっているのが現状でした。このような現状を踏まえ、九州大学は全学的な ELN を導入する組織として「デジタルラボ推進センター（以下、本センター）」を令和 6 年 1 1 月に設立しました。ELN 導入は、研究データの蓄積・利活用および DX 型研究の支援のみならず、リポジトリ等へのデータ保存を容易にし、また、各種学内インフラとの接続により、研究・事務作業の効率化・省力化をもたらし、研究者の研究時間を創出するものと期待できます。その結果として本学の研究力の底上げと社会課題解決への貢献ができることを期待しています。

第 2 部 本センターの提供する ELN とその運用方針

本センターでは様々な ELN から Deltablot 社が提供する eLabFTW を全学展開する ELN として選定しました。以下では特に、九大が契約する eLabFTW を以下「九大 eLabFTW」とし、用語の定義は eLabFTW 公式サイト (<https://doc.elabftw.net/generalities.html>) に基づいて説明しています。

1. eLabFTW とは

Deltablot 社が開発したオープンソースの ELN であり、ELN の中でも特に操作性に優れることが特長。高額な契約を必要とせず、多くの研究分野に対応可能な汎用性の高さが評価されて欧州を中心に導入が進んでいます。API も公開されているため、機能の拡張性にも優れています。

2. 基本機能

- ・実験ノートの作成（word 感覚で記入できる記入欄、ファイル添付機能、タグ付与、教員によるコメント記入機能などが実装される。テンプレートを作成も可能）
- ・化合物管理 (<https://elabftw.kyushu-u.ac.jp/compounds.php>)

- ・スケジューラの作成 (<https://elabftw.kyushu-u.ac.jp/scheduler.php>)
- ・エクスポート (PDF やエクセル形式でのエクスポート可能) (<https://doc.elabftw.net/import-export.html>)

より詳細な機能に関しては eLabFTW 公式サイト (<https://doc.elabftw.net/index.html>) をご参照ください。

3. 動作環境

ネットワークのある環境であれば様々な端末からブラウザを通じて九州大学全学 ID により九大 eLabFTW へのログインが可能で、ログイン後のノートの入力、パソコン、タブレット、スマホから可能です。

4. 階層構造

「システム管理者」「管理者」「ユーザー」の3階層が設定可能ですが、本センターの職員が「システム管理者」を担います。「管理者」が「ユーザー」の構成を管理しますが、構成単位（「チーム」という）は例えば研究室や研究室内のサブグループ、センターなどを想定しています。

5. データ保存

Deltablot 社が準備する国内のサーバーに蓄積されます。現在の契約容量は 500GB です。チームごとの容量割り当てはありませんが、容量の大きな画像等のファイルは QRDM 等を活用し、各自での保存をお願いします。保存先リンクを実験ノートに添付することでデータの一元保存管理が可能です。

6. アカウント発行

申請を通して「システム管理者」である本センターが「管理者」のアカウントを発行します。アカウント発行には全学基本メールのアドレスが必要になります。アカウントを発行した時点を利用開始とします。

7. ユーザー登録

「チーム」内の「ユーザー」登録は「責任者」が行います。

8. 閲覧範囲

「管理者」は閲覧範囲を設定することが可能で、他の研究室からは隔離された閉じた環境を構築することができます。

9. 管理

本センターは Deltablot 社との契約および基本的な環境整備を担いますが、個別のレクチャー等是对応しません。使用法に関する質問を受け付けることはできませんが、運用ルール等の質問があれば「責任者」を通してご連絡ください。

10. 費用

令和 1 0 年度まではセンターが負担し、無償でご利用いただけます。それ以降も無償化に努めますが、場合によっては少額の負担をお願いする場合があります。

11. 免責

利用に伴い「責任者」および「ユーザー」の利用ルール違反または研究倫理違反等で生じた損害について一切の責任を負いません。

12. サービス停止

本センターは本サービスを永続するための最大限の努力をしますが、やむを得ない事由によりサービスを停止する場合、センター運営委員会の承認を経て、利用者へ少なくとも6ヶ月前までに予告します。その際は、各自でサーバー内のデータを QRDM 等の適切なストレージ等への保存をお願いします。

13. 違反に対する対応

センターは、違反の重大性に応じて、警告、アカウント停止、閲覧制限、学内関係部局への報告、その他必要な措置を講じます。

14. 本決定の改訂

本決定は令和7年9月1日から実施し、センター長は、必要に応じて本決定を改訂できるものとします。

第3部 利用ルール

1. アカウントの貸与はしないこと。
2. 「責任者」は九大 eLabFTW の運営方針とルールを十分に理解していること。
3. 「チーム」内において「責任者」を複数名設定可能であるが、必ず1名の代表者を決め（運用上、“代表責任者”呼ぶ）、変更があった場合はセンターに届け出ること。初期設定は申請者が“代表責任者”としています。
4. 「責任者」は本学の教職員であること。
5. 「責任者」はユーザー登録の際に事前にユーザーへ説明し、無断で登録しないこと。特に、他研究室などに所属するユーザーの無断登録は禁止します。
6. “代表責任者”はチーム内ユーザーの記述内容・利用方法に関して責任主体となること。
7. 「責任者」は「チーム」内の実験記録の品質向上に努めること。
8. 大容量データは、外部サーバーを活用し、リンクにて九大 eLabFTW 内に管理すること。
9. 「責任者」の異動などに伴う「チーム」閉鎖時においてはサーバーからデータを削除すること。（QRDM等の学内リポジトリをご活用ください）
10. 九大 eLabFTW の機能向上や普及拡大のため、本センターからの求めがあった場合は協力を努めること。